

『パミラ』と『トリストラム・シャンディ』

—作品受容の過程に見られる感受性の〈不〉道徳性—

講演者 原田範行

東京女子大学 現代教養学部教授

9月26日(土)

15:20-17:00

上智大学 四谷キャンパス
2号館9階915会議室

言語：日本語

入場料：無料

申し込み：上智大学ヨーロッパ研究所
i-europe@sophia.ac.jp (定員あり)

【講演者プロフィール】

原田範行(はらだのりゆき)

慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、東京女子大学教授。日本英文学会副会長、同関東支部長。専門領域はサミュエル・ジョンソンを中心とする18世紀イギリス文学および出版文化史。

最近の主な著訳書は、『風刺文学の白眉—「ガリバー旅行記」の世界』(NHK出版、2015)、『召使心得(他四篇)—スウィフト諷刺論集』(翻訳、平凡社ライブラリー、2015)、『「ガリヴァー旅行記」徹底注釈』(共著、岩波書店、2013)、『パミラ』(翻訳、研究社、2011)など。



主催：学術振興会科研費基盤(B) 代表土井良子(白百合女子大学)

「感受性の〈不〉道徳性と教育—イギリス近代文学におけるジェンダー編成の諸相—」

共催：上智大学ヨーロッパ研究所

■お問合せ先：上智大学ヨーロッパ研究所 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学中央図書館7階 721B
Tel: 03-3238-3902 E-mail: i-europe@sophia.ac.jp